

## 令和4年度第2回佐倉市入札監視委員会議事概要

日 時	令和5年1月25日（水） 午後1時30分～
場 所	議会棟 第2委員会室
出席者	<p>&lt;委 員&gt; 湯川委員長、野村委員、矢口委員</p> <p>&lt;事務局&gt; 契約検査課</p> <p>&lt;担当課&gt; 施設保全課、公園緑地課、こども保育課、道路建設課、道路維持課、指導課、資産経営課</p>
<p><b>【議事概要】</b></p> <p>○議題1 入札・契約の手続きの運用状況等について</p> <p>令和4年4月1日から令和4年9月30日までに実施した一般競争入札・随意契約・低入札価格調査実施案件及び指名停止業者について、事務局から報告しました。</p> <p><b>[主な質疑]</b></p> <p>（質問）低入札価格調査を実施した案件について質問です。事業者が低い価格で入札された理由はどのようなものでしょうか。</p> <p>（回答）調査時の事業者の説明によりますと、得意とする分野の事業内容であったために、経費の削減が可能となり、市の設計よりも低くなった、とのお話でした。また、工事部門の市の発注事業が減少傾向にあるため、ある程度の利益を確保できれば、できるだけ受注したい、という考えが働いたと推察しています。</p> <p>（質問）低入札価格調査の対象となる金額で落札された場合でも、事業者は、一定の利益を確保できているのでしょうか。</p> <p>（回答）支障がないことは調査で確認しています。また、設計方法として、市は、直接工事費以外の間接費などは、直接工事費に対する割合で積算を行っていますが、事業者は、実際の必要経費を積み上げて積算しているため、その差額が大きくなったものと考えます。</p> <p>（質問）指名停止について質問です。佐倉市との契約案件で契約解除となり、指名停止となった事業者について、契約解除の理由をお聞かせください。</p> <p>（回答）同社は、仕様書で指定している技術資格を有する技術者の配置ができないことが、契約後、最初の打ち合わせ時に判明いたしました。理由は、同社が仕様書の内容を読み落としていたことが原因とのことで、契約解除となりました。</p> <p>（質問）この業者は、市内業者でしょうか。</p> <p>（回答）千葉市の事業者です。</p> <p>○議題2 制限付き一般競争入札参加資格の設定経緯等について</p> <p>令和4年4月1日から令和4年9月30日までに実施した一般競争入札・随意契約の中から、当番委員が抽出した10件の案件について、事業担当課職員による事</p>	

業説明及び質疑応答を行いました。

#### [主な質疑]

案件① 佐倉市立井野小学校トイレ改修電気設備工事（施設保全課・一般競争入札）

（質問）落札率が97.8%と高くなった要因をどのようにお考えでしょうか。

（回答）市内の小・中学校のトイレ改修工事の発注にあたっては、電気設備工事、建築工事、機械設備工事の3つに分離して発注を行っています。

本事業は、小学校校舎内のトイレ洋式化に伴う、トイレの電気設備工事で、主にコンセント工事及び照明工事です。

落札率が高い要因として、工期5か月半の中で、事業内容や規模などから、事業者の積算による削減効果が見込めなかったものと考えています。

（質問）入札参加者5者の入札額の差が5万円以内に収まっていますが、談合のようなものではなく、事業者による差が出にくい事業内容ということでしょうか。

（回答）はい、そのように考えています。本工事は、コンセント及び照明に関する比較的シンプルな工事です。工事手法など含め事業者による工事内容に差がつきにくく、工夫の余地があまりないため、結果として、近い金額になったと考えています。

（質問）金額差が少ないと、事業者による談合なども考えられる場合もありますが、本事業の各者の入札額は適正な競争の結果である、という理解でよいでしょうか。

（回答）そのように考えています。

案件②佐倉市立弥富小学校トイレ改修建築工事（施設保全課・一般競争入札）

（質問）落札率が99.9%と高く、入札者が1者のみとなった要因をどのようにお考えでしょうか。

（回答）案件①と同様に、小学校校舎内のトイレの洋式化に伴う改修工事で、建築一式工事、電気設備工事、機械設備工事と3つに分離して発注しました。

事業内容は、トイレの洋式化に伴う、個室ブースの作り直しや内装改修です。本案件は一度、入札者なしのために不調となっており、再度公告し、7月7日に落札者が決定しました。

そのため、工事の開始時期が遅くなり全体の工期が短くなったことと、8月末までに施工を終えるよう仕様で求めた工事であったことから、期間的な問題で、積極的な参加がなかったものと思われます。

また、今年度、同様の工事を行う学校トイレ改修工事の発注が6件ありました。そのなかで、本事業は、他のトイレ工事よりも規模が小さく、工事費

用も低めとなっています。一方で、工事手配の手間は規模に関わらず、一定程度必要となるため、入札額も高くなったものと考えられます。

案件③ 佐倉城址公園樹林整備工事（城内町113地先）（公園緑地課・一般競争入札）

（質問）落札率が97.9%と高くなった要因をどのようにお考えでしょうか。

（回答）本事業は、佐倉城址公園の東側法面（のりめん）に位置する、経年劣化した老木などを撤去し、代わりに中低木を植樹するものです。落札率が高くなった要因として、斜面での作業となることや、事業場所のすぐ近くまで民家が迫っていることなどから、熟練技術者の配置が必要であり、結果として経費が割高になり、落札率が高くなったものと考えます。

（質問）入札参加申請者5者のうち、1者辞退していますが、辞退理由はどのようなものでしょうか。

（事務局）辞退届には、協力業者の確保が困難であるため、と記載されていました。

（質問）入札書比較価格が1800万円弱という規模に対して、入札者が4者と少なく、入札金額の差も少ないことから、談合などを疑う要因ともなりえますが、開札結果をどのように捉えていますでしょうか。

（回答）事業内容の難しさなどから必要経費がかさみ、結果として各社とも予定価格に近い金額での入札になったものと考えます。

（質問）入札参加者は、市内業者でしょうか。

（回答）はい、すべて市内業者です。

案件④ 令和4年度（仮称）佐倉西部自然公園保全業務委託

（公園緑地課・一般競争入札）

（質問）落札率が54.6%と低くなった要因をどのようにお考えでしょうか。

（回答）本事業は、（仮称）佐倉西部自然公園の除草業務が中心となります。

落札率が低い理由として、今年度の落札者は、前年度にも同じ事業を受注しているため、現場状況を熟知し、人員配置や作業工程などを工夫することで経費を削減できた結果であると考えています。

業務はすでに完了し、完了検査にも合格しており、業務内容にも問題はありませんでした。

（質問）資格要件に設定されている業種は、「緑地管理・道路清掃」ですが、「緑地管理」と「道路清掃」を1業種にまとめているのは、理由があるのでしょうか。

（事務局）この業種分類については、千葉県下統一で使用している、電子入札システム「ちば電子調達システム」の分類を使用しています。

（質問）前年度の落札状況を教えてください。

（事務局）前年度の入札参加者は3者で、落札率は54.6%でした。

案件⑤ 志津保育園0歳児室・医務室空調設備工事（こども保育課・随意契約）

（質問）随意契約とされた理由を教えてください。

（回答）本事業は、志津保育園の空調設備工事です。8月3日に空調が故障し、状況を確認したところ、修理対応ができないことが判明しました。発生時期が真夏だったことから、緊急性が高いと判断し、急遽、随意契約で実施いたしました。

（質問）見積りを依頼する事業者はどのように決めたのでしょうか。

（回答）見積りは2者に依頼しました。1者は、前年度、同じ保育園の別の部屋で空調が故障したときに、工事を担当した会社です。もう1者は、今回故障した空調設備を導入した際に工事を担当した会社です。

（質問）契約は8月19日となっていますが、工事の完了はいつでしょうか。また、工事中はどのように対応をされたのでしょうか。

（回答）工事は、8月26日に完了しました。工事期間中は、空調設備に問題がない別の部屋の子どもたちと同一の部屋で保育を行いました。

（意見）緊急性が高い工事だと思いますが、一方で、故障の発生から完了までに時間を要している印象を受けます。故障の発生から、工事完了までの期間をもっと縮められるような工夫が必要であるとの印象を受けました。

案件⑥ 鹿島川大橋外53橋道路橋定期点検業務委託（道路建設課・一般競争入札）

（質問）落札率が54.1%と低くなった理由をどのようにお考えでしょうか。

（回答）この事業は、市内の道路橋54橋の定期点検業務です。橋梁定期点検は、道路法施行令の規定に基づき、5年に1回近接目視で点検・記録を行うものです。全国的に、1回目の点検が終了し、令和元年から各地で2回目の点検が始まっています。

過去に点検業務を実施した経験を有する事業者は、効率よく業務を進めることで経費を削減できることと、落札者は、過去に橋梁点検業務の受注実績があることから、市の設計よりも低い金額での入札が可能となり、落札率が低くなったと考えます。

（質問）本業務は、過去に同様の業務の実績を有する会社は低い金額での入札傾向にあるのでしょうか。また、本案件の受注者は、前回と同一の業者ですか。

（回答）昨年度、同様の事業の落札率は55%程度となっています。落札者は、前回の点検業務の受注者とは異なる事業者です。

（質問）低入札調査基準価格を下回る金額の入札者が複数いますが、予定価格はどのように積算されていますか。

(回答) 千葉県積算基準を用いて、設計しています。全国的にも、設計方法は同様となるため、予定価格は妥当であったと認識しています。

案件⑦ 令和4年度臼井・千代田地区道路草刈業務委託

(道路維持課・一般競争入札)

(質問) 落札率が51.9%と低くなった理由をどのようにお考えでしょうか。

(回答) 本事業は、佐倉市臼井・千代田地区における市道周辺の草刈り業務です。予定価格は、千葉県の積算基準を用いて設計しています。

落札業者は、事業場所である同地区に本社を構えています。そのため、周辺の道路状況などを熟知していること、履行場所までの移動距離が短く、コストを削減できることなどから、落札率が低くなったと考えます。

(質問) 本事業の参加者は、市内の事業者ですか。

(回答) はい、入札参加者4者すべて、佐倉市内の事業者となります。

(質問) 入札を辞退した事業者の辞退理由を教えてください。

(事務局) 辞退届には「人員確保が困難なため」、と挙げられていました。

(質問) 同様の道路草刈り業務委託は、毎年度、同じ事業者が落札される傾向にあるのでしょうか。

(回答) 毎年度、複数の入札者参加者がいるため、連続で同一地区の草刈り業務を落札された事業者もいますが、年度によって落札者が入れ替わっている地区もあります。

案件⑧ 令和4年度佐倉市道道路清掃業務委託 (道路維持課・一般競争入札)

(質問) 落札率が97.9%と高くなった要因をどのようにお考えでしょうか。

(回答) 本事業は、市が管理する市内全域の道路の清掃業務です。車道は路面清掃車による清掃、歩道は作業員による掃き掃除を行っています。金額の設計は、千葉県の積算基準に基づいて積算しています。

落札率が高くなった理由としては、路面清掃車両を使用するため、燃料費の高騰を受けやすいためではないかと考えています。入札に参加した7社がいずれも予定価格に近い金額での入札となったのも、同様の理由と考えております。なお、前年度の落札率も、90%以上となっていました。

(質問) 佐倉市が予定価格を事前公表していることも、入札金額が近くなる一因でしょうか。

(回答) 入札案件によって、落札率が高い事業、低い事業とあり一概には言えませんが、今回の事業に関しては、車の燃料費や維持費といった経費は、いずれの会社も一定程度の費用が発生するため、近い金額になったものと考えます。

案件⑨ 令和4年度給食施設設備ガスバーナー分解清掃業務委託

(指導課・一般競争入札)

(質問) 落札率が98.7%と高くなった要因をどのようにお考えでしょうか。

(回答) 本事業は、佐倉市立小学校、中学校の給食室にある、回転釜及び炊飯器のガスバーナー部分を分解・清掃し、さび止めをするものです。各種メーカーの厨房機器を分解し、煤などで詰まったバーナー孔を清掃し、さび止め処理を行った後、再度組み立て・試運転までを行っています。そのため、経費はほぼ人件費であること、各種厨房機器の構造を熟知している人員の手配が必要であり、一定時間がかかる業務でもあることなど、入札額が下げられなかったことが理由だと考えています。

(質問) 入札が無効となっている事業者はどのような金額だったのでしょうか。

(事務局) 予定価格を超える額での入札であったため、無効としています。予定価格を超えて入札される業者の中には、市の予定価格では見合わない、ということを示すために予定価格以上の金額で入札される場合と、誤って税込み価格で入札してきたために予定価格を超えてしまう場合があります。

(質問) 事業者から、今回の予定価格について、低すぎるなどのご意見はあったのでしょうか。

(回答) そのようなご意見はありませんでした。

(事務局) 予定価格を超えた金額での入札というのは、珍しい事例ではないと受け止めています。今回無効となった事業者の入札金額内訳書を見ると、税込みの予定価格に近い金額で入札されていたことから、誤って予定価格超となってしまったケースであることも考えられます。

案件⑩ 令和4年度佐倉市立千代田小学校外5校厨房備品購入

(指導課・一般競争入札)

(質問) 落札率が98.4%と高くなった要因をどのようにお考えでしょうか。

(回答) 本事業は、各小学校の給食室で使用する食器洗浄機やスチームコンベクションなどを購入し、各学校の指定場所に設置するものです。落札率が高い理由としては、1点目は、市の設計の段階で、過去の落札率などを加味し、定価の7割で設計しており、予定価格の金額が低めの設計となっていることが挙げられます。2点目として、食器洗浄機の設置箇所が狭い場所であり、安価な同等品の選定が困難であったことが可能性として考えられます。

○議題3 プロポーザル方式による受注者の選定結果等について

令和4年4月1日から令和4年9月30日までに実施したプロポーザル方式により業者選定を行った2件について、事業担当課職員による選定結果報告及び質疑応

答を行いました。

案件① 佐倉市緑の基本計画策定支業務委託（公園緑地課）

（質問）事業内容とプロポーザル方式で実施した経緯についてお伺いします。

（回答）本事業は、公園・緑地に関する総合計画「佐倉市緑の基本計画」の策定にあたって実施したものです。この計画は、緑のマスタープランとも呼ばれるものであり、基礎データの収集、現況調査、市民アンケート調査を実施の上、調査結果の分析や評価、課題の整理を行い、同計画の策定に必要な資料を作成する、本計画の検討から策定までを支援する業務となります。

本計画の策定にあたり、市民のニーズを把握し、適切にその内容を施策に反映するための分析力、緑地・緑被現況調査等のデータを資料として図化し、誰にでもわかりやすいデザインや体裁で冊子化するデザイン力が必要となります。そのため、要求仕様に加えた事業者の提案内容や業務遂行能力を評価することができるプロポーザル方式を採用しました。

（質問）応募者は1者となっていますが、提案能力のある事業者は多数存在すると考えられ、参加者が少なかった理由としてどのようにお考えでしょうか。

（回答）本案件は、結果として1者のみの応募でしたが、応募要件を整えば複数参加することもあると考えています。今回1者となった理由としては、応募要件に、「プライバシーマークの認証取得事業者であること」と設定したことで、数が絞られた可能性があると考えています。

（質問）応募してきた事業者は、市内本店の事業者でしょうか。

（回答）本社は大阪で、千葉市に支店があります。

（事務局）入札名簿を確認しても、市内事業者で今回のような事業へ参加する事業者はほぼいないのが現状です。市内本店の事業者で、このような計画策定が可能な事業者は、民間の事業に主軸を置かれているのではないかと考えています。

（質問）「佐倉市緑の基本計画」は、市の公園・緑地に関して、どのような位置づけになりますか。

（回答）市内の緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する政策を実施するための計画であり、市の公園・緑地に関する政策の全体の基本方針を定めるものとなります。

案件② 佐倉市立臼井公民館外1施設 ESCO 事業（資産経営課）

（質問）事業内容とプロポーザル方式で実施した経緯についてお伺いします。

（回答）本事業は、臼井公民館及び和田ふるさと館の老朽化した空調機器を ESCO 事業により更新するものです。ESCO 事業の実施にあたっては、「環境配慮契約

法に基づく基本方針（国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針）」で、「ESCO事業者の決定に当たっては、価格のみならず、施設の設備システム等にもっとも適し、かつ、創意工夫が最大限に取り込まれた技術提案その他の要素について総合的に評価を行うものとする。」とされています。

これに基づき、市において詳細な仕様を定めず、事業者の提案により事業内容を決定していくことが可能なプロポーザル方式を採用しました。

(質問) 今回の契約者は、3者が合同で1事業者として応募されている、という理解でよいでしょうか。

(回答) はい、3者合同で、応募されています。代表企業のほか、電気工事を担当される事業者、資金部門を担当される事業者で構成しています。